

編集・発行
西砂会館
管理運営委員会
委員長 渡辺 茂

立川市西砂町5-11-13
電話：042-531-0066

印刷：マスタ印刷
電話：0428-22-3047



西砂川伝統
手打ちうどん

新年にあたって

管理運営委員長

渡辺 茂



明けましておめでとうござ
います。昨年中は多くの皆様
には会館運営に対して並々な
らぬご協力を頂き厚くお礼申
しあげます。

西砂会館は設立二十五周年を
迎えました。年間の利用者数
も徐々に増え、平成二十八年
十二月には、のべ30万人の利
用者があり、活発な地域活動
が行われています。

会館独自の事業として「ま
ゆ玉飾り」、「お茶摘み・お茶
作り」、「ソーメン流し大会」、
「手打ちうどん作り大会」な
どを行っています。これらの
事業は、昔からの当西砂川地
域の食文化を守って行こう主

旨から行っているものであ
り、今後も継続して実施して
行くつもりです。

さて、本年も平成三十一年
一月六日(日)に新年の恒例
行事・第24回「まゆ玉飾り」
を実施しました。地域の皆様
や学校関係の協力を得て、子
ども達と新年の伝統行事を祝
い、楽しみました。続いて一
月二十日(日)に第21回「初
笑い親子手打ちうどん作り大
会」を西砂川地区文化会と共
催で実施しました。

年度締め事業「西砂会館
まつり」は、平成最後のイベ
ントとなり、三月十日(日)
に開催致します。皆様のご来
館をお待ちしています。

最後に今後の会館運営に対
し、気持ちを新たにして取り
組んで参ります。皆様方のご
意見、ご協力をよろしくお願
い致しまして新年のご挨拶と
致します。

第25回 西砂会館まつり

開催日 3月10日(日)

《午前部》 10時～11時30分
杵つきもち > 10時30分より
手打ちうどん > 販売開始
地場産野菜等販売
包丁とき
《午後部》 12時～
会館利用者の演芸発表
福引抽選会



今年も恒例の会館まつりを
三月十日に開催致します。

地域の皆様のご協力による
模擬店、会館利用者の皆様の
演芸発表、何が当るか楽しみ
の福引きがあります。

皆様のご来館を役員一同、
お待ちしております。

『防災訓練と利用者団体との懇談会』

昨年、九月八日（土）に防災訓練と利用者懇談会が行われました。当日は消防署から五名、約三十名の参加で、初めに一一九番通報、そしてAEDを実際に何人かの人にやってみてもらい、という時のためにとても勉強になりました。



『まゆ玉飾り』

去る一月六日（日）に毎年恒例のまゆ玉飾りが行われました。当日は親子でも参加が二十五名と役員、PTAの方々とても和やかに行われ、だんご、みかんもきれいに飾れました。



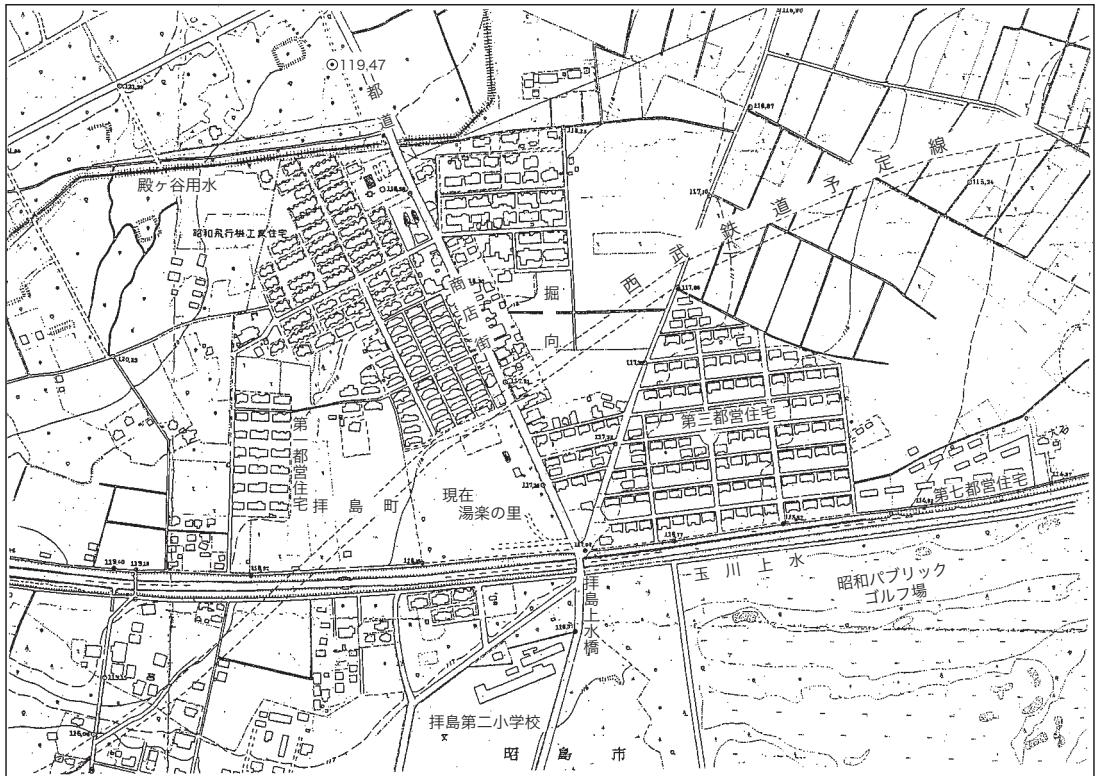
茶の間の*風土記

「基地に消えた町」 その2

昭和十八年西砂川の南・玉川上水堀橋北西の山林が切り開かれ、何やら大きな建物が出来上がり、後に伝聞で分かったのですが軍施設「つばめ部隊駐屯地」でした。

内情は分からなかったが隊員は社宅内の銭湯を利用する様になり、軍の身分上下による行動の一部が子供の目でも観察できました。

昭和十九年・二十年はB二九や艦載機による空襲が頻繁となり、B二九来襲時には「つばめ部隊駐屯地」から何時も高射砲で応戦していました。



終戦と同時に部隊は消滅し、建物内はもぬけの殻となった。しかし上水に木箱詰め銃弾を捨てて行つたため、後日大事件が起きることになりました。

米軍が接收した審査部（横田基地）の拡張工事が始まり、部隊跡地の建物は何時の間にか基地拡張工事業者「間組」の宿舎に利用され、地元では通称二千人宿舎と言われる様になった。

昭和二十二年都営一号三号住宅三二〇戸が造られ、二十三年には間組二千人宿舎が焼失してしまいました。

この頃から堀向は近隣に無い賑やかな街に変貌します。

以下次号 笠井信吾 記

西砂小学校 うどん作り出前授業

去る十二月十七日・十八日・二十日の午前中、西砂小学校の六年生（3クラス）を対象に西砂川地域伝統の「手打ちうどん作り」の出前授業を行いました。

生徒たちはうどん粉に水を含ませる水回し、こね、踏み込み、延し等々の作業工程を真剣に取り組んでいました。自分たちで作ったうどんはコシがあり、格別に美味しかったとでしょう。 記 渡辺 茂



『そうめん流し大会』

昨年八月五日（日）にそうめん流しを行いました。



西砂会館利用案内

「開館時間」

午前九時～午後十時

「利用申し込み受付日」

毎月一日と月・水・金の

午前九時～午後五時

（正午～午後一時を除く）

※印刷機も有料にて利用でき

ます。（使用受付時間内）

「休館日」

第二木曜日・第四火曜日

「お問い合わせ」

TEL FAX 五三二一〇〇六六

☆会館内は禁煙です



◇編集後記◇

亀の冬眠

亀は冬眠するって知っていましたが。私は今まで亀が冬眠するなんて思ってもいませんでした。私の知り合いが三十年前に縁日で小さなみどり亀を買って、今も育てている人がいます。聞くと餌を食べなくなると亀に「そろそろ冬眠する季節だよ」と話しかけ、甲羅や手足のしわなどをきれいに水洗いしてあげて、プラスチックの衣装ケースに少し水を張り、周りを発砲スチロールで囲み暖かくして冬越しさせているそうです。三、四ヶ月経つて、春が来ると起こしてあげているそうです。

